|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 成人看護援助論Ⅲ（慢性期） | 単位数 | １単位 | 時間数 | 30時間（内15時間） |
| 担 当 者 | 遠藤 裕子 (臨床経験5年) | 学　年 | １学年 | 開講年次 | 1学期 |
| 目的 | 成人期に起こりやすい健康障害の事例を通して、対象を理解し必要な看護の展開方法を学ぶ。 |
| 科目目標 | 健康障害のある成人及び家族の看護過程の展開ができる。 |
| 回数 | 授業計画・授業内容 | 方法 |
| 1回2回3～7回8回 | １．肺がんで化学療法を受ける患者の看護　１）肺がんの経過と看護　２）化学療法をうける患者の看護　３）放射線療法をうける患者の看護２．慢性期とともに生きる人を支える看護１）慢性病と慢性病と持つ人の特徴２）慢性病と共に生きる人を支える３）安楽に関する症状を示す対象者への看護３．肺がんで事例を用いた看護過程の展開　４．終了試験（45分） | 講義個人ワーク講義個人ワーク個人ワーク |
| 准看時授業内容 | 成人看護 |
| 教科書参考書 | 教科書：『系統看護学講座　専門分野　成人看護学〔1〕成人看護学総論』医学書院　　　 『系統看護学講座　専門分野　基礎看護学〔4〕臨床看護総論』医学書院参考書：『看護診断ハンドブック』医学書院 |
| 評価方法 | 学習成果物　70点　筆記試験　30点 |
| 関連科目 | 看護過程、病態生理・病理学、疾病と治療Ⅰ、成人看護学概論、フィジカルアセスメント演習 |
| 備考 | 1．開講前に事例を配布します。事例内容に必要となる既習学習内容の復習を行い講義に臨んで下さい。2．学習成果物は、最終提出を含め3回予定します。提出期日が守れない場合は評価の減点対象となります。 |